

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年03月30日

計画の名称	大阪都市再生環状道路の整備と安全安心な道づくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	堺市												
計画の目標	都市再生プロジェクトに位置づけられている「大阪都市再生環状道路」を整備することにより、大阪南部地域における高速道路の利便性の向上や東西方向一般道の交通混雑の大幅な緩和をし、関西都市圏の社会経済活動の活性化を図るとともに、良好な道路空間確保と利便性の向上を図るものである。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	18,879	A	18,879	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H32末
1	本事業の整備により、並行する一般道路交通の混雑緩和が見込まれる。 並行する一般道路の渋滞損失時間短縮率(大和川線全線供用により効果発現) (1 - (事業後渋滞損失時間/事業前渋滞損失時間)) × 100	0%	%	45%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	堺市	直接	堺市	S街路	改築	1・3・0-1 大和川線	道路改築(1.6km)	堺市						13,886		-	
	A01-002	街路	一般	堺市	直接	堺市	S街路	改築	3・3・201-16 常磐浜寺線外	道路改築(10.7km)	堺市						1,700		-	
	A01-003	街路	一般	堺市	直接	堺市	S街路	改築	3・1・203-2 大阪中央環状線外	道路改築(5.3km)	松原市外						3,293		-	
												小計						18,879		
												合計						18,879		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	3,595	2,731	720		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	3,595	2,731	720		
前年度からの繰越額 (d)	0	1,055	50		
支払済額 (e)	2,540	3,736	736		
翌年度繰越額 (f)	1,055	50	34		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

箇所図

計画の名称 大阪都市再生環状道路の整備と安全安心な道づくり
計画の期間 平成30年度～令和2年度（3年間）

交付団体 堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 大阪都市再生環状道路の整備と安全安心な道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。(上位計画名：堺市総合計画,堺市マスタープラン等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性) 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○